

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

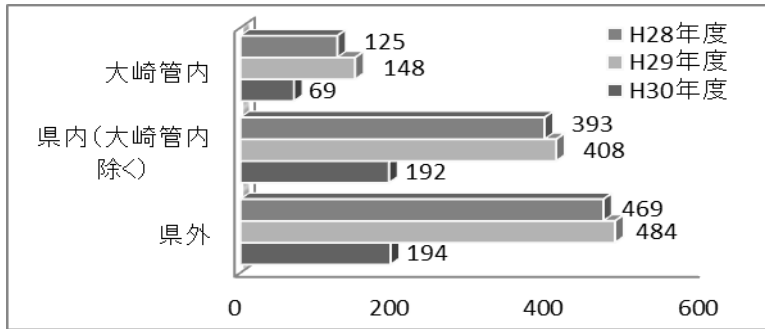


進路だより

第7号

平成30年7月6日発行
宮城県小牛田農林高等学校

求人票受付状況(7/5現在)



平成 28, 29 年度は年度末の数値



企業訪問を終えて

6月上旬から企業訪問を行っています。その数は約60社になります。主に今年度に卒業生が就職した企業や、継続して求人を出してくれている企業を対象としています。本校卒業生の活躍や本校への高い評価を聞くことができ、大変うれしくなると同時に誇らしい気持ちになります。その中で来年度の採用予定や採用にあたって重要視する点などを聞いてきます。以下はその内容です。

- 入社2年目の社員だが、将来のリーダーとして期待している。1年目の社員も研修から積極的に取り組んでいる。(大崎市製造業)
- OBもたくさんおり、後輩の面倒を見たり、指導、教育を行う体制があり、安心して長く勤められる環境が整っている。(美里町製造業)
- 採用にあたって重要視する点(複数企業からのお話)
 - ・欠席が少ない(仕事に穴を空けない人)。
 - ・様々な年代とコミュニケーションがとれる(将来的にリーダーとなって年上の人たちも動かしていける人)。
 - ・部活動をやっている(協調性、礼儀、挨拶、忍耐力などが身につけている人。体力的、精神的にタフな人)。
 - ・私生活がしっかりしている(健康や金銭のなどの自己管理がきちんとしてできる人)。
 - ・明るく挨拶ができる(職場になじめる。チームで仕事ができる人)。



そんな中、トヨタ自動車東日本から来年度の本校生の採用は見送るとのお話がありました。6/27の朝刊にその理由と思われる記事が載っていました。2年連続本校から採用していただいていたので非常に残念です。

好況に支えられて求人数も増加しており、「売り手市場」(求職者に対して求人数が上回る状態)の状態です。しかし、企業によっては必ずしも大量採用をするわけではないようです。「売り手市場だから求人は多い」「採用試験も合格しやすいだろう」などの油断は禁物です。気持ちを締め締めて臨みましょう。

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

3年生進路LHR



6月27日(水)6校時のLHRの時間に、就職希望者(約 60 名)、専門学校・公務員希望者(約 70 名)、大学・短大・看護医療系希望者(約 60 名)に分かれて行われました。

講師には仙台大原簿記情報公務員専門学校の鈴木秀俊先生(専門・公務員分野)、ライセンスアカデミーの山田晃史先生(大学・短大・看護分野)をお迎えし、就職は本校進路指導部就職担当の佐々木泰子先生が担当しておこなわれました。

進学分野では推薦・AO入試での面接の心構え、事前準備などについて説明を受けました。志望動機を述べる際に、見たこと聞いた事だけでなく、実際に体験、経験したことを踏まえて話すことにより、説得力が増し相手へのアピールが強くなること。面接の際、良いスタートラインに立つためには第一印象が大切であり、第一印象は「見た目」と「声」で90%以上が決まるなどのお話をいただきました。

就職希望者に対しては7月1日から求人票受付が始まるので、求人票の見方を中心に、9月から始まる就職試験に向けてのスケジュール等の確認がされました。



自衛隊説明会

6月28日(木)放課後に本校で行われました。3年生男子3名、2年生男子2名、1年生女子1名が参加し、宮城地方協力本部大崎地域事務所から所長の渋谷さん他2名の方に来校していただきました。

自衛隊の業務や訓練、給与、福利厚生などについて他の治安系公務員(警察、消防、海上保安庁)と比較しながら説明していただきました。寮完備、制服支給、三食の食事の提供など生活費の負担がほとんど無いこと、多くの資格取得ができ、その後の民間企業への再就職も可能なこと(就職率 100%)などが説明されました。また、本校卒業生からも自衛官としての勤務について話していただきました。

「自衛隊ガイダンスを聞いて」伊藤 大成(3-2 古川南中)
今日の自衛隊ガイダンスでは、インターネットなどでは知ることができない事が分かりました。特に「大切な仲間ができること」「仲間を通して強い絆ができること」という言葉が印象に残っています。とてもやりがいのある仕事であると改めて思うことができました。また、具体的な自衛隊の仕組みや制度についても深く理解することができ、入隊への意欲が高まりました。

